

もりのにぎわい通信

2012年7月28日 定例活動報告

日時：2012年7月28日（土）9：00～12：30、15：00～18：00

場所：小山町 観音地

天候：晴 気温 27～32℃ 湿度 68% 風向 西南西 風速 8m

参加者：29人：子供9人、大人20人（小山町・土地改良区5人）

■ 活動

9：00 集合 打合せ

除草作業の準備

9：45 受付

10：00 横田先生より池の改修作業について

10：15 道具作り

10：30 休憩

10：45 作業再開

12：00 休憩（スイカ）

12：30 解散

15：00 作業再開

18：00 後片付け

18：15 解散

■ 活動報告

土用のこの時期の定例活動で、気になるのは、日中の気温の上昇による熱中症。まだ、人の背丈を越えた程度の本々では、木陰にはならず、メンバーの中桐さん、和田さんが休憩場所にと池の傍にタープテントとパラソルを張ってくれました。池の改修作業は、暑さとの戦いになるのは必死（憂鬱）。そこで、私は、気分も一新、緑の環のオリジナルTシャツを着ての参加。（でも、汚れを気にしてすぐに着替えましたが・・・。）

地元の方は、都合で前回よりも少ない参加で、進入路から池の周りの斜面と散策路周辺に分かれて刈払機での除草作業に入りました。

一方、森もりあそび隊の親子参加者は、県環境学習アドバイザーの横田耕明先生のご指導で、3年前に造った池の改修整備に取り掛かりました。

事前に7/15（日）池の水を水中ポンプで汲み上げブルーシートで作った水槽に移し、3年前に放したメダカ、タナゴ、オイカワ、ドジョウやゲンゴロウ、ウシガエル、オケラなどを移す作業を済ませてありました。

また、二日前に横田先生のご紹介でライオン(株)千葉工場から今回の整備に使う道具をお借りしてきました。その際、ライオンさんのビオトープ、名称：レオトープを見学させて頂き大変参考にな

りましたが、実際作業するのは、今回が初めてです。

まず、最初は、池のポンドシートを切らないようにシャベルで泥や土をかき出し、池の縁の高さを整えてから不織布とポンドシートを切り揃えました。その次に10tダンプ2台分もの赤土粘土から、一輪車で池の底になるところに何度も運びました。その後は、子ども達が足で踏み固めるお手伝いをしてくれました。横田先生が、赤土粘土を突き固める道具で力いっぱいドシンドシン……。参加者で交代して底の部分を30cmの厚さに固めて仕上げます。

今度は、土手側の斜面に赤土粘土を何度も運び込みます。傾斜に土を空け、人が上に乗り板で突き叩く。これが、とても難しそうで、力の入れ具合で柄が折れたり……。見るのとやるのは大違い。この作業もみんな交代して行ないました。

飲み物とスイカ休憩を2回とって水分補給するも全身から汗が流れ出ました。お昼近くになると、真夏の太陽が容赦なく照りつけます。作業は、暑さのため12時半で一旦解散。午後3時から再開することにしました。

作業再開した午後3時になると、ほんの少し暑さが和らいでいました。赤土粘土を一輪車に積んで空け、30cmの厚さに突き固める作業が続きました。私は、池に被せるブルーシートを買いに行き戻ると手前の縁も出来上がっていたのに驚きました。しかも、子ども達が赤土粘土の山に登ってシャベルで一輪車に運び入れる様子は、とても頼もしく感じました。

先生から「今日は、ここまでできないと思っていましたが、出来ました。」と言われ、参加者から笑顔がこぼれました。

小高さんが、水タンク(500ℓ)に井戸水を運んで来てくれて作業途中の池に水を流し込み赤土粘土が乾かないようにして池全体にブルーシートを被せました。それから、横田先生の竹のペグでシートの周りを留めて解散になりました。

今日は、ハードな池の改修整備作業でしたが、横田先生のご指導でようやくここまで出来ました。本当に有難うございました。そして、暑い中をご参加くださった皆様、本当にお疲れ様でした。熱中症で具合が悪くなった人がでなかったのが何よりでした。

次回は、9月の定例活動で田んぼの土を赤土粘土の上に厚さ10cm~30cmに木のコテで塗る作業を行ないます。そして、池のメダカやタナゴ、オイカワが生息しやすい水草が育つ環境の池にして戻してあげたいと思います。

記録：星野静枝

■森もりあそび隊

夏真っ盛りのこの日、横田先生の指導のもと池の整備をしました。梅雨の時期は外した方がとありましたが、暑いこの時期も大変な作業になりました。

子どもたちもいつもは好きに森を走り回っていますが、今回大変な作業なため大人たちに交じっての作業です。

7月15日に仮池設置後、魚やヤゴなどを仮池に放流しました。僅かに残っていた水も干上がっていましたが、そんな泥の中にもまだドジョウが数匹生き残っていて早速保護。その生命力には驚かされました。

池に赤土粘土を入れる作業では、大人の作業を見よう見まねに。スコップで一輪車に赤土粘土を

入れ、子ども数人で協力して一輪車をゴロゴロ転がしました。大人から見れば、効率があがらないもどかしい子どもたちの作業でしたが、すぐに飽きて他の事を始めてしまうのが常の子どもたちにとって、この日の池整備は、一カ所にとどまり黙々とこなしたりと、成長の片鱗を感じました。

日射しが強く一旦休憩を挟んでからの気温が下がる午後3時からの作業再スタート。子どもの数も減ってしまいましたが、一度休んだのが功を奏しグングンと作業が進み、赤土粘土を入れる作業も無事終わりました。

次回の定例活動で田んぼの土を入れ、魚たちを戻す作業です。普段なかなか触れないメダカやタナゴなどを触れるチャンスです。より多くの子どもたちに是非参加して欲しいものです。

(記録：中桐友哉)

.....

■ お知らせ ホームページもご覧下さい→ <http://www.g-cycle.org/>

次回の定例活動は、9月22日(土)(雨天9月23日(日))除草作業と池の整備作業を行なう予定です。(水中ポンプで池の水を汲み出し田んぼの土を貼り付ける作業)是非、ご協力をお願いします。



ポンドシートと不織布をめくって、池の縁を揃える作業



熱中症対策の為、テント設営から開始



横田先生と子ども達は、道具作り



Q：この生き物、何かわかりますか？





ポンドシートをはがし、池の縁の高さを調整



東側斜面の除草作業



作業合間のひと時





伸び放題の雑草と格闘



赤土粘土を大人が運び、子ども達が踏み固める





いろいろな道具を使い、みんなで協力した池の改修作業



池の底をしっかりと踏み固め



池の縁は板で叩いて固める



水を入れて池の改修作業の前半を終えました。

